



プロジェクタースクリーン

ホワイトボードスクリーンシリーズ

(WhiteBoardScreen™ Series)

ユーザーガイド

ドライイレース型ホワイトボードプロジェクタースクリーン「ホワイトボードスクリーン (WhiteboardScreen™) シリーズ」をお選びいただきありがとうございます。ご使用前に、このユーザーガイドをご一読ください。正しく使用することで長くお使いいただけます。

ご使用前に

ドライイレース型ホワイトボードとして使用する際、以下の注意事項に従い正しくお使いください。

1. マーカーの書き込みを消す際は、高密度タイプのイレーサーのみをお使いください。
2. 映写面を傷つけるため、研磨式のイレーサーは使用しないでください。
3. マーカーの書き込みが残っている状態でホワイトボードクリーニング液を使用しないでください。ホワイトボードの表面にマーカーのインクが広がり、また、イレーサーにもインクが付着してイレーサーが使用できなくなります。
4. イレーサーを使用してマーカーの書き込みが消えない場合、クリーニング液をホワイトボードの表面に直接付け、**マイクロファイバークロスのみ**を使用して拭いてください。

パーツ一覧

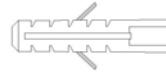
スクリーンの組み立てを始める前にすべてのパーツが揃っていることをご確認ください。



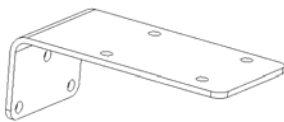
a



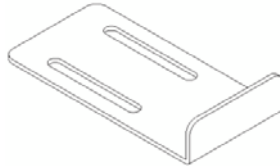
b



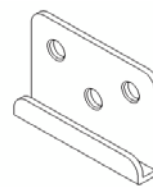
c



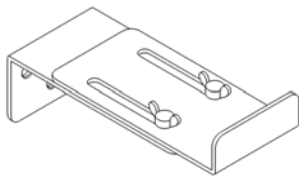
d



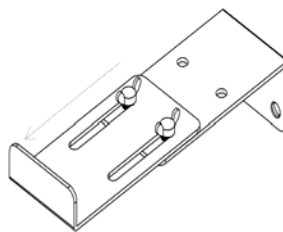
e



f

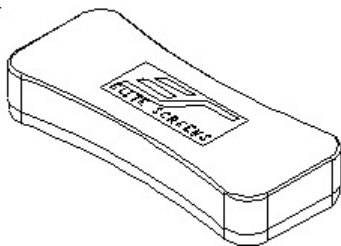


g

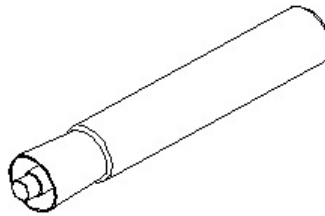


h

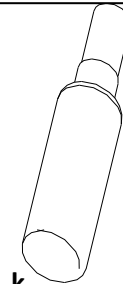
g と h は、つまみネジ a を使用して d と e を組み立てた状態の図です。



i



j



k

備考: イレーサーはエリートスクリーンのホワイトボードスクリーンにのみ使用できます。日本国内向け出荷では、クリーニング液(k)が付属せず、代わりにドライイレースマーカー(j)が通常2本のところ6本付属します。

- a. 個数：4 - つまみネジ
- b. 個数：12 - 壁用ネジ
- c. 個数：12 - 壁用アンカー
- d. 個数：2 - 壁用上部ブラケット(壁側)
- e. 個数：2 - 壁用上部ブラケット(ホワイトボード側)
- f. 個数：2 - 壁用下部ブラケット
- g. 60インチ (4:3) の場合の上部ブラケット完成図
- h. 80インチ (4:3), または96インチ (16:9) の場合の上部ブラケット完成図
- i. 個数：2 - ホワイトボードイレーサー
- j. 個数：6 - ドライイレースマーカーペン
- k. 個数：0 - クリーニング液

取り付け手順

1. 取り付け方法は複数あります。次ページを参照して、机の上のプロジェクターから投影する「デスクトップモード」での取り付けか、天吊りのプロジェクターから投影する「オーバーヘッドプロジェクターモード」での取り付けか、いずれかを決定してください。
2. 「デスクトップモード」で取り付ける場合、図1の部品と図3の部品を、図4または図5のように接続します。
3. 取り付け先の壁にドリルで穴をあけ、「デスクトップモード」の場合は壁用上部ブラケット(図4または図5)と壁用下部ブラケット(図2)を取り付けます。「オーバーヘッドモード」の場合は、壁用下部ブラケット(図2)を上部に取り付けます。
4. 最後に、ホワイトボードスクリーンをブラケットに取り付けます。

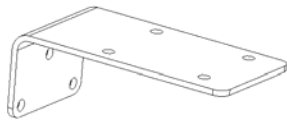


図 1

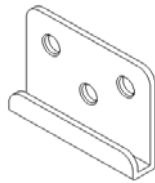


図 2



図 3

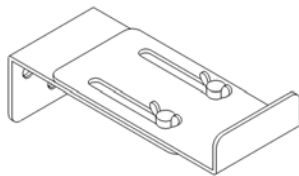


図 4

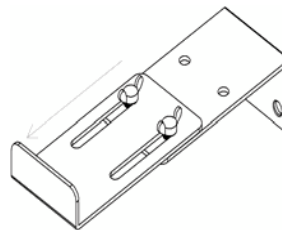


図 5

図 4: 60 インチ(4:3) スクリーンの場合の壁用上部ブラケット

図 5: 80 インチ (4:3) または 96 インチ (16:9)スクリーンの場合の壁用上部ブラケット

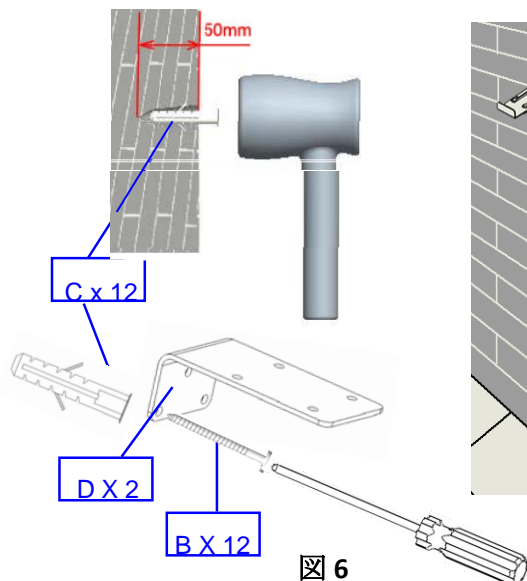


図 6

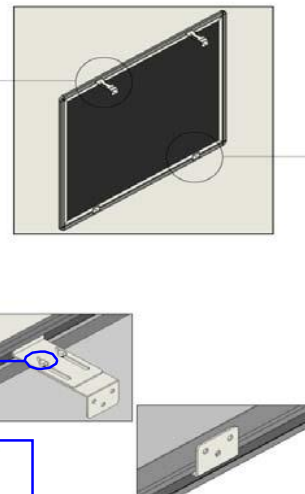
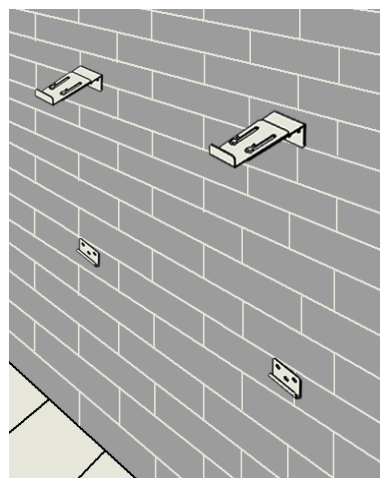
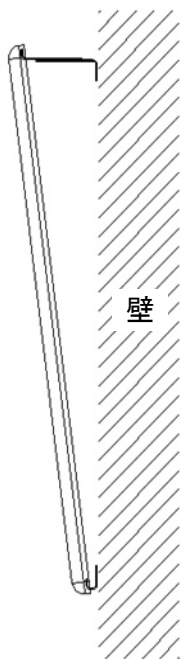
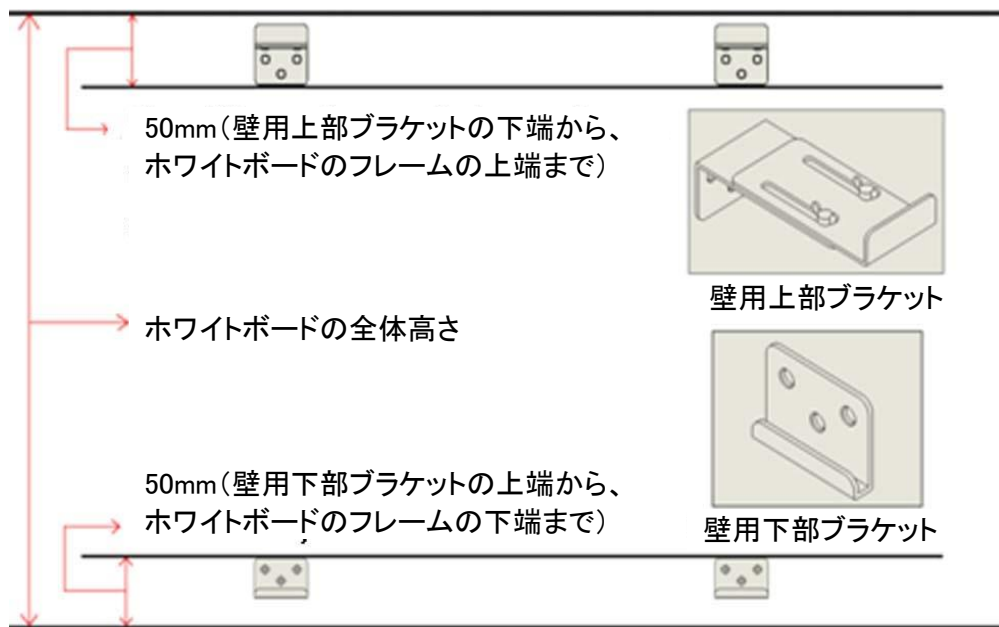
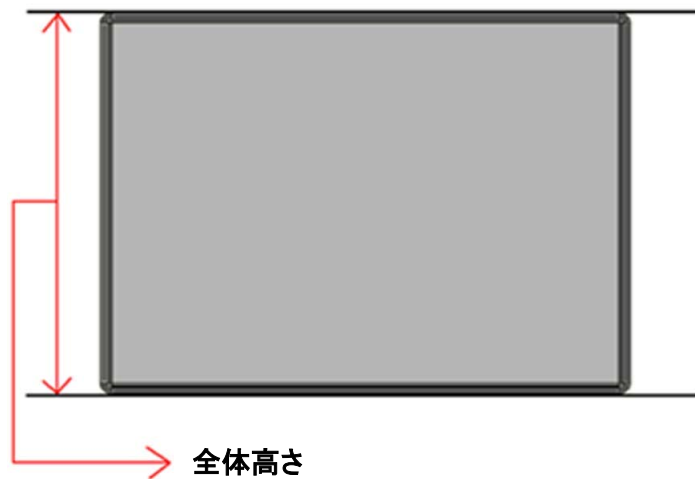
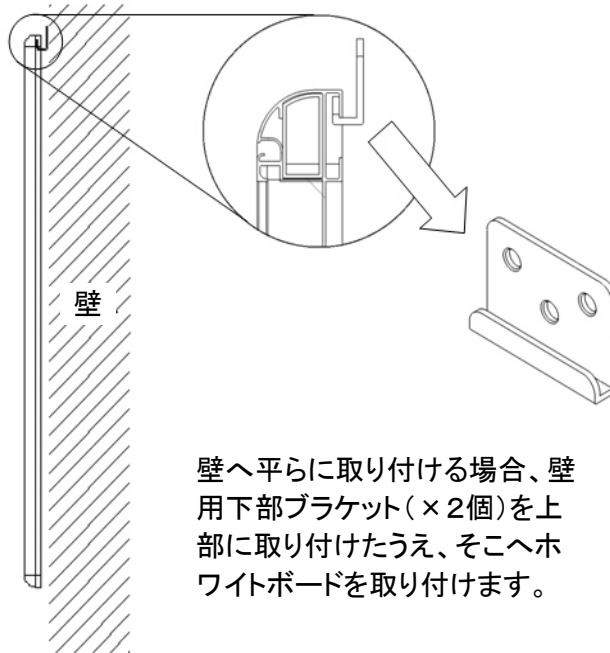


図 7



デスクトッププロジェクターモード



オーバーヘッドプロジェクターモード

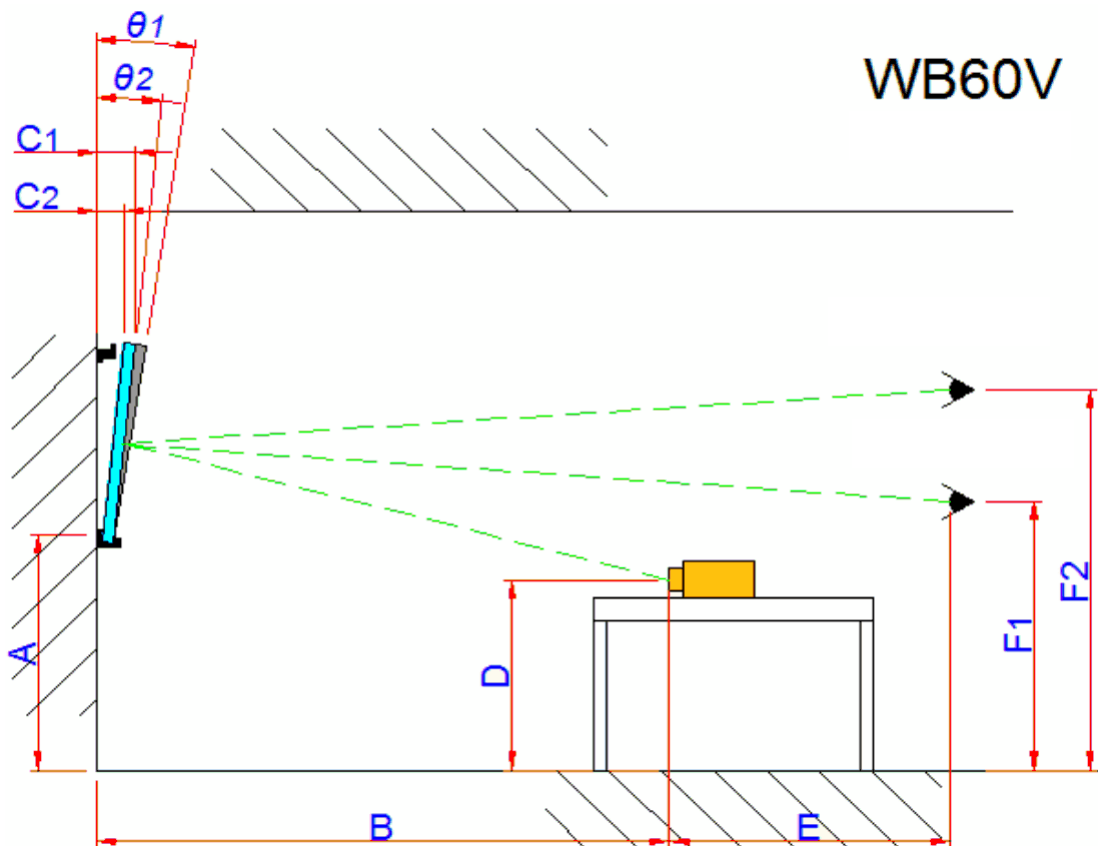
デスクトップまたはオーバーヘッドプロジェクターに適した取り付け位置

本製品で使用している「スターブライト4」スクリーン素材は特にスクリーンゲインを高くした角反射型の素材です。この特別な素材の性能を活かすため、適切な位置へスクリーンを取り付け、適切な視野角で映像を見ることを推奨します。ホワイトボードを取り付ける位置を決める際は、下表を参考にしてください。

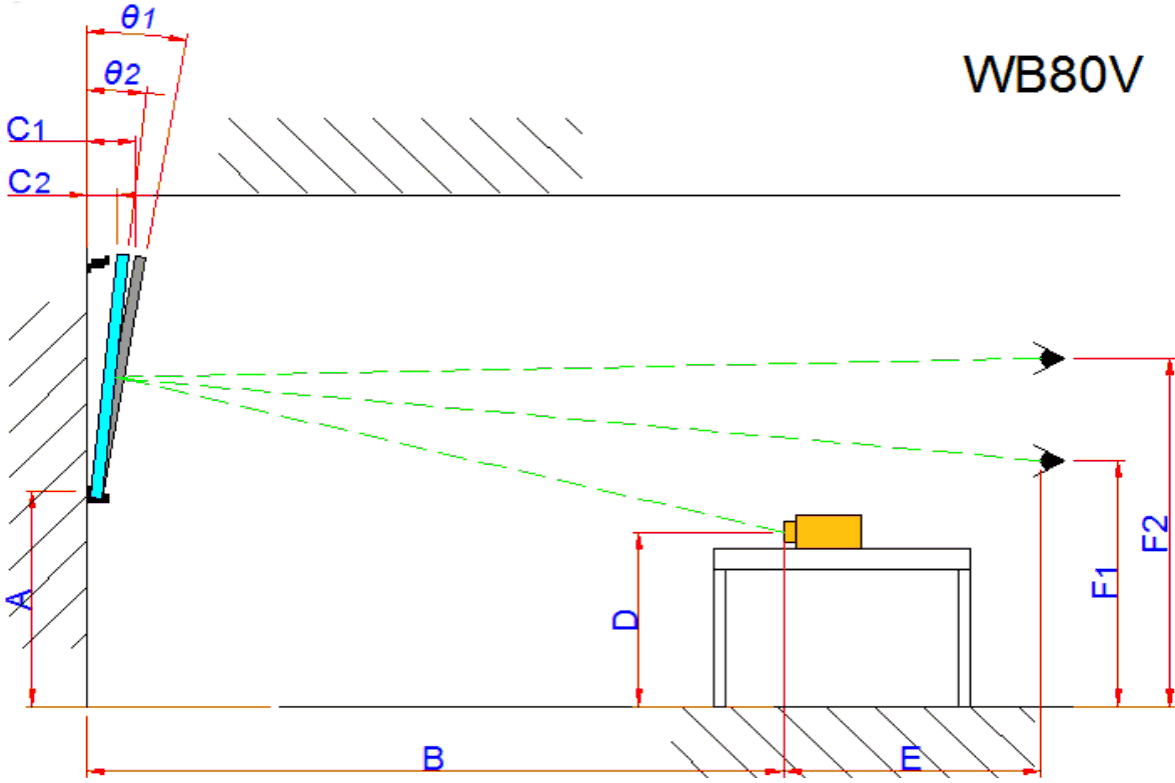
なお、スクリーン素材の特性上、映写面の中央付近よりも周辺のほうがやや暗くなる傾向があります。その結果、中央が軽微な「ホットスポット」のように見える場合があります。

デスクトッププロジェクターモードでの取り付け

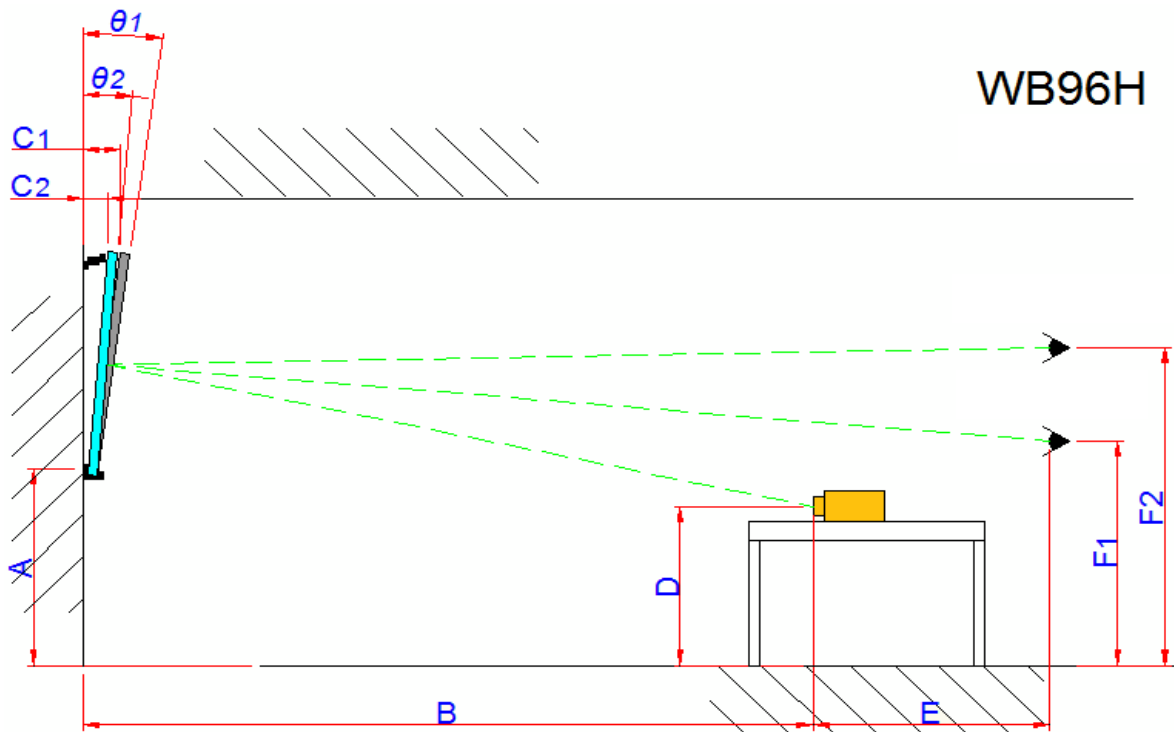
型番	全体幅 (W)	全体高さ (H)	取り付け位置の高さ (A)	推奨の投影距離 (B)	座った場合の推奨位置 (C1)	立った場合の推奨位置 (C2)	推奨のプロジェクター高さ (D)	視聴距離 (E)	座った場合の視聴位置 (F1)	立った場合の視聴位置 (F2)	座った場合の視聴角度 (O1)	立った場合の視聴角度 (O2)
WB60V	1190.0	930.0	1000 - 1200	1950 - 2950	160	114	800 - 1000	1200	1200	1700	9°	6°



単位: mm												
型番	全体幅 (W)	全体高さ (H)	取り付け位置の高さ (A)	推奨の投影距離 (B)	座った場合の推奨位置 (C1)	立った場合の推奨位置 (C2)	推奨のプロジェクト高さ (D)	視聴距離 (E)	座った場合の視聴位置 (F1)	立った場合の視聴位置 (F2)	座った場合の視聴角度 (O1)	立った場合の視聴角度 (O2)
WB80V	1630.0	1230.0	1000 - 1200	2750 - 3750	228	145	800 - 1000	1200	1200	1700	10°	6°



単位: mm												
型番	全体幅 (W)	全体高さ (H)	取り付け位置の高さ (A)	推奨の投影距離 (B)	座った場合の推奨位置 (C1)	立った場合の推奨位置 (C2)	推奨のプロジェクト高さ (D)	視聴距離 (E)	座った場合の視聴位置 (F1)	立った場合の視聴位置 (F2)	座った場合の視聴角度 (θ1)	立った場合の視聴角度 (θ2)
WB96H	2130.0	1230.0	1000 - 1200	3200 - 4200	187	125	800 - 1000	1200	1200	1700	8°	5°



デスクトッププロジェクトモードでの取り付け位置:

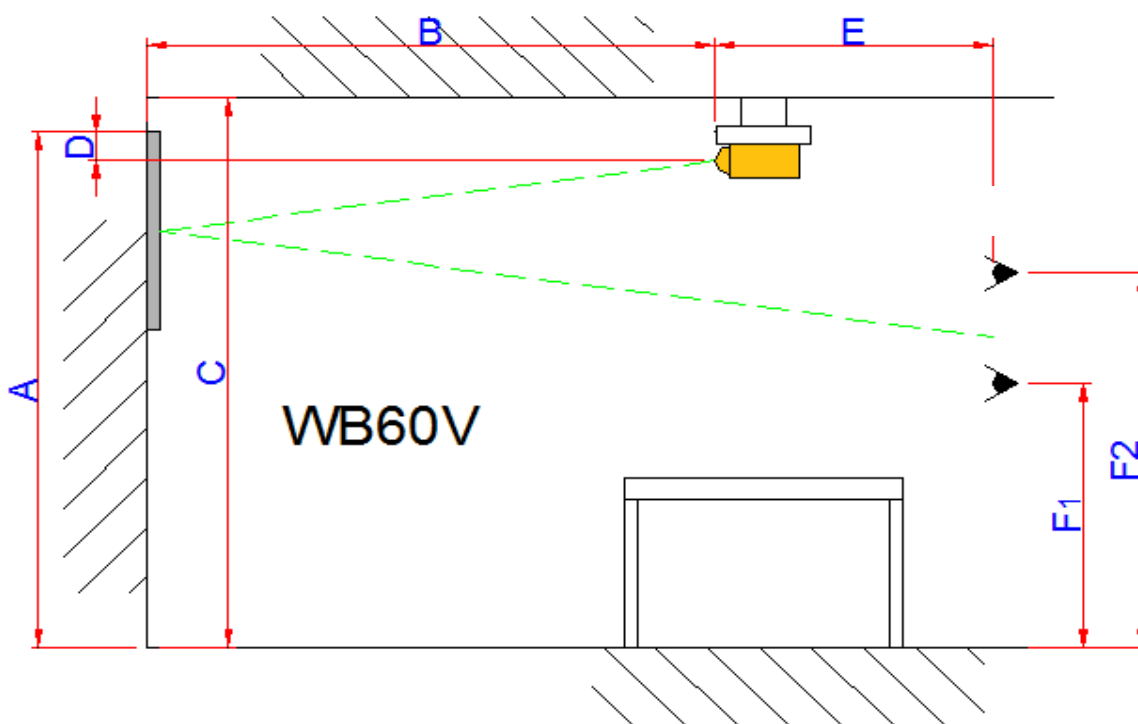
- A=取り付け位置の高さ(床面から壁用下部ブラケットのドリル穴位置まで)
- B=推奨の投影距離(プロジェクトからスクリーンまで)
- C1=座った場合の推奨位置 (F1から見たときに最も明るい映像となる角度)
- C2=立った場合の推奨位置 (F2から見たときに最も明るい映像となる角度)
- D=推奨のプロジェクト高さ(床面からプロジェクトレンズ中央まで)
- E=視聴距離(ユーザーからプロジェクトレンズまで)
- F1=座った場合の視聴位置
- F2=立った場合の視聴位置
- θ1=座った場合の視聴角度(最も明るい映像となる角度)
- θ2=立った場合の視聴角度(最も明るい映像となる角度)
- W=全体幅
- H=全体高さ

備考: 数値は参考値です。実際の数値は、取り付ける部屋のスペースに合わせて決定してください。

オーバーヘッドプロジェクターモードでの取り付け

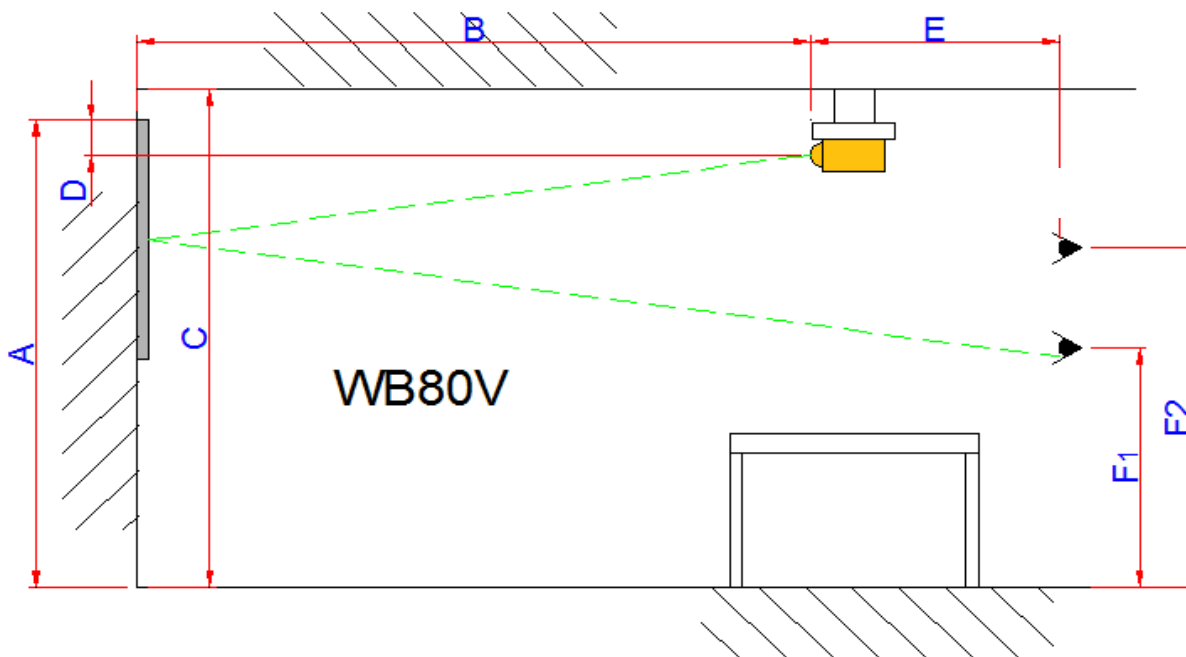
単位: mm

型番	全体幅 (W)	全体高さ (H)	取り付け位置の高さ (A)	推奨の投影距離 (B)	天井の高さ (C)	推奨オフセット (D)	視聴距離 (E)	座った場合の視聴位置 (F1)	立った場合の視聴位置 (F2)
WB60V	1190.0	930.0	2340	1950 - 2950	2500	130	1200	1200	1700



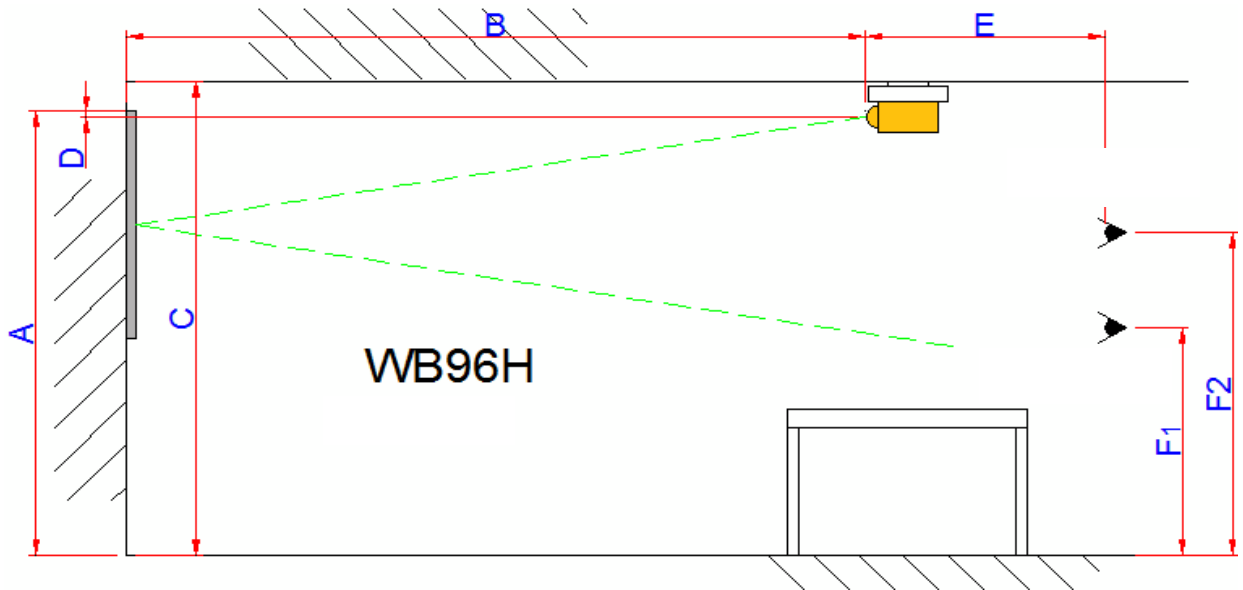
単位: mm

型番	全体幅 (W)	全体高さ (H)	取り付け位置の高さ (A)	推奨の投影距離 (B)	天井の高さ (C)	推奨オフセット (D)	視聴距離 (E)	座った場合の視聴位置 (F1)	立った場合の視聴位置 (F2)
WB80V	1630.0	1230.0	2340	2750 - 3750	2500	174	1200	1200	1700



単位: mm

型番	全体幅 (W)	全体高さ (H)	取り付け位置の高さ (A)	推奨の投影距離 (B)	天井の高さ (C)	推奨オフセット (D)	視聴距離 (E)	座った場合の視聴位置 (F1)	立った場合の視聴位置 (F2)
WB96H	2130.0	1230.0	2340	3200 - 4200	2500	29	1200	1200	1700



オーバーヘッドプロジェクターモードでの取り付け位置:

- A=取り付け位置の高さ(床面からホワイトボードの上端まで)
- B=推奨の投影距離(プロジェクターからスクリーンまで)
- C=天井の高さ
- D=推奨オフセット(プロジェクターのレンズ中央からホワイトボードの上端まで)
- E=視聴距離(ユーザーからプロジェクターレンズまで)
- F1=座った場合の視聴位置
- F2=立った場合の視聴位置
- W=全体幅
- H=全体高さ

備考: 数値は参考値です。実際の数値は、取り付ける部屋のスペースに合わせて決定してください。